

平成29年度

アクションプラン【概要】



南和広域医療企業団

平成29年7月

アクションプラン策定の目的

- ・平成29年2月 中期計画[平成29～32年度]を策定
→毎年度策定する「アクションプラン」を中期計画
実現のための”行動計画”に位置付け
- ・平成28年度の取り組み成果、目標の達成状況を踏まえて
「平成29年度 アクションプラン」を策定



- ・より良質で最適な医療の提供
- ・安定した経営（「経営の質」向上）

1 3病院の一体的運営によりシームレスに質の高い医療を提供

① 3病院の一体的運営

急性期、回復期、療養期の患者様に3病院が機能分担と連携により、シームレスな質の高い医療を提供できるよう、3病院の一体的運営を図る。

[H29の新たな取組]

- ①医療技術職員(薬剤、臨床検査、放射線、リハビリ、臨床工学及び栄養)について、南奈良総合医療センターの各部門長が、3病院の業務に係るマネジメントを一体的に行う。
- ②3病院合同の運営委員会や拡大定例会の開催により、運営方針や情報の共有を図り、一体性を強化する。

② 専門性を活かした質の高い医療を提供

<診療方針、部門方針の明確化>

各診療科、部門について、わかりやすく診療方針・部門方針等を掲げる。

[H29の新たな取組]

- ①物忘れ外来(総合内科)
- ②循環器サポートチームによる心臓リハビリ(循環器内科)
- ③胆膵超音波内視鏡検査(消化器内科)
- ④脳ドックによる定期的画像検査(脳神経外科)
- ⑤顕微鏡下外科手術(整形外科)
- ⑥関節エコー検査(リウマチ・運動器疾患センター)
- ⑦アレルギー免疫療法(耳鼻咽喉科) など

<患者数等の目標設定>

	南奈良総合医療センター	吉野病院	五條病院
1日平均入院患者数	226.6人 (稼働率97.6%)	93.0人 (稼働率96.8%)	41.0人 (稼働率91.1%)
平均診療単価	48,968円	22,699円	21,000円
1日平均外来患者数	597.9人	112.0人	40.0人
平均診療単価	10,324円	16,321円 (院内処方)	8,500円

③ 診療科、部門を超えたチーム医療を推進

<センター機能の充実>

南奈良総合医療センター開院時の8センターに、「がん相談支援センター」が加わり、9センター体制に発展。センター機能の充実に取り組む。

[H29の新たな取組]

- ①奈良県ドクターヘリの効率的な運航(救急センター)
- ②オンラインHDFの全例導入(腎・尿路疾患センター)
- ③若手医師による主体的な訪問診療(在宅医療支援センター)
- ④東和地域のへき地診療所とのICT環境の整備(へき地医療支援センター) など

<チーム医療への貢献>

チーム医療を拡大するため、各診療科・各部門が主体的に取り組む。

[H29の新たな取組]

- ①多病を抱えた高齢者の積極的な対応(総合内科)
- ②血栓溶解法(t-PA)症例での他科連携(神経内科、脳神経外科)
- ③嚥下外来の実施(摂食・嚥下チーム)
- ④周術期肺血栓症予防プロトコルの作成(産婦人科)
- ⑤周術期口腔機能管理の拡大(歯科口腔外科、麻酔科) など

2 地域で求められる病院機能を充実・強化

① 災害拠点病院としての機能強化

大規模災害の発生に備え、災害拠点病院としての機能強化に取り組む。

[H29の新たな取組]

- ①総合的な訓練の実施(H30.3予定)
- ②DMATメンバーを中心とした初動体制の構築(救急科、総合内科)
- ③へき地診療所とのネットワークの構築(総合内科)
- ④ドクターヘリ、防災ヘリの運用ルールの整備(救急センター、救急科)
- ⑤トリアージナースの体制構築(救急センター、看護部)
- ⑥救急救命士の教育訓練(救急センター、麻酔科)

② 地域医療の充実に向けた対応の強化

<地域の医療機関等との連携>

企業団3病院と地域の医療機関との連携による、地域医療提供体制の充実を図る。

[H29の新たな取組]

- ①五條市医師会(4月)及び吉野郡医師会(6月)との連携協定の締結
- ②医療機器等の共同利用の推進
- ③地域医療に係る研修会の実施
- ④地域医療連携に係る会議の定期的な開催

<へき地診療所の支援、連携>

[H29の新たな取組]

- ①ICT活用によるへき地診療所とのカルテ情報の相互開示
- ②テレビ会議システムによる遠隔TVカンファレンスの実施

<健康診断の充実>

疾病の早期発見・早期治療のための各種健康診断の充実を目指す。

[H29の新たな取組]

- ①胃がん内視鏡検診(年400人)
- ②人間ドック等の個人申込み枠の拡大

③ 地域がん診療病院としての機能強化

南奈良総合医療センターが「地域がん診療病院」として指定を受けた(H29.3)ことから、がん診療についての診断、治療の一層の充実を図る。

[H29の新たな取組]

- ①がん相談支援センターでの相談対応(年300件)
- ②がんピアサポーターと連携し患者サロンを開催(月1回)
- ③外来化学療法の実施
- ④胃がん内視鏡検診枠の新設
- ⑤緩和医療の提供

④ 情報発信の充実

地域住民の健康増進を図るとともに、企業団3病院の診療内容について情報発信を充実する。

[H29の新たな取組]

- ①健康フェスティバル2017の開催
月日 : 11月12日(日)
会場 : 南奈良総合医療センター
テーマ : がん
- ②論文作成、学会発表等への積極的な取組
- ③健康セミナー、公開講座や出前講座への職員派遣
- ④広報紙「ハピネスだより」の発行(継続)
- ⑤ホームページのリニューアル など

3 地域医療を守る人材を育成

① 看護専門学校での人材育成

地域医療を支える質の高い看護職者を育成する。

[H29の新たな取組]

- ①入学志願者の10%アップ
- ②国家試験合格率100%
- ③南和地域を中心に県内就職率90%以上を目指す。

② スタッフ教育によるスキルアップ

高度化する医療ニーズに対応するため、各部署において主体的にスタッフ教育に取り組む。

[H29の新たな取組]

- ①HCUナースへの重症患者管理教育
- ②救急センターナースへの救急診療教育
- ③臨床検査技師のスキルアップ など

③ 研修医等に対する教育支援

医師をはじめとする企業団職員の専門性を活かし、医学生、研修医、救急隊員等に対する教育支援を行う。

[H29の新たな取組]

- ①医学生、初期研修医の受入
- ②救急隊、救急救命士に対する院内研修
- ③平成31年度に基幹型臨床研修病院の認定取得

4 『経営の質』の向上に向けた取組を推進

① 「経営の質」向上プロジェクトチームの設置

診療科、部門、課等を超えた関係職員により、プロジェクトチーム(『経営の質』向上プロジェクト)を設置し、安定的な経営を図っていくための検討と取り組みの強化を行う。必要に応じて、主任専門員を任命し、対策強化を図る。

< 医業費用関連支出の削減 >

経費の分析を進め、医療の質や業務効率との調整を図りながら、委託費、材料費の削減に取り組む。

< 未収金対策の推進 >

未収金の発生防止及び管理・回収について、「未収金対策ワーキング」を設置し、3病院が一体となって取り組む。

[H29の新たな取組]

- ①月次管理と情報共有のシステム化
- ②支払催告の早期着手
- ③一定期間経過未収金の弁護士への委託等による回収の検討 など

② 新たな施設基準等の取得

より質の高い医療の提供と収入確保のため、引き続き施設基準の取得に取り組む。特に、「地域医療支援病院」の承認取得については、地域の診療所の協力を得ながら、企業団全体として取り組む。

[H29の新たな取組]

[南奈良総合医療センター]

- ①地域医療支援病院入院診療加算
- ②認知症ケア加算1
- ③看護職員夜間配置加算2 など

[吉野病院]

- ①地域包括ケア病床 (5床追加)
- ②認知症ケア加算2

[五條病院]

- ①一般病棟入院基本料
- ②入院時食事療養費Ⅰ
- ③入院時生活療養費Ⅰ
- ④退院支援加算Ⅱ
- ⑤診療録管理体制加算Ⅱ
- ⑥180日を超える入院費の選定療養費
- ⑦地域包括ケア病床の基準取得
- ⑧医療療養病床の追加運用

③ 患者サービスの向上

「笑顔と感謝にあふれる病院」を目指し、患者様をはじめ来院される方へのサービス向上に努める。

[H29の新たな取組]

- ①「ご意見箱」等に寄せられたご意見への適切で迅速な対応
- ②各種マニュアルの整備と徹底・遺失物、拾得物の取扱など
- ③院内、院外における案内サインの見直し

1. 南奈良総合医療センター 診療科

①内科

- ・多くの疾患を抱えた患者を一般内科として診療
- ・専門分野に特化した診療科との連携による医療の提供

②総合内科

- ・専門診療科が特定しにくい複数の臓器にまたがる疾患に対応
- ・在宅やへき地を基盤とした患者へのシームレスな診療
- ・物忘れ外来の診療
- ・災害医療への対応に備える

③糖尿病内科

- ・糖尿病専門医を中心に血糖コントロールが困難な症例や合併症の進んだ症例の治療
- ・糖尿病教育入院、糖尿病性腎症に対する慢性腎臓病(CKD)教育入院、フットケア外来の実施

④内分泌・代謝内科

- ・脳下垂体、甲状腺、副腎、性腺等内分泌臓器の異常が原因のホルモンの病気全般の診断、治療
- ・泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科等との診療連携

⑤感染症内科

- ・感染症に関する最新情報を病院内の内外に提供
- ・感染対策チームの活動充実
- ・合併症のある結核患者を想定した入院環境の整備

⑥循環器内科

- ・狭心症、心筋梗塞、閉塞性動脈硬化症など動脈硬化症疾患の迅速かつ積極的な治療
- ・遠隔モニタリング機能付きペースメーカー植え込みの実施
- ・心臓リハビリチーム医療の充実

⑦呼吸器内科

- ・肺がんなど専門性の高い呼吸器疾患に対応
- ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)、睡眠時無呼吸症候群の治療

⑧消化器内科

- ・緊急の処置が必要な消化器病患者の受入
- ・内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技、消化管腫瘍に対する粘膜下層剥離術(ESD)、ポリープ切除術の増加

⑨神経内科

- ・長期脳波モニタリング(てんかん)の診断目的入院を実施
- ・救急患者の受入、在院日数の短縮を図り、収益の向上をめざす

⑩小児科

- ・呼吸器疾患(肺炎、喘息)、消化器疾患(胃腸炎)、てんかんなど急性、慢性の小児疾患に対応
- ・安定した小児救急の維持に貢献

⑪精神科

- ・うつ病、不安障害、統合失調症、不眠症、認知症の外来診療を実施
- ・がん患者への緩和ケアの提供

⑫外科(消化器・総合)

- ・日本における標準治療、最新治療の提供、腹腔鏡などによる低侵襲な手術の実施
- ・胃、大腸、肝臓、膵臓、胆道、乳腺がん治療、
- ・鼠径ヘルニア、肛門疾患、消化管穿孔、虫垂炎、腸閉塞の治療

⑬脳神経外科

- ・脳血管障害、脳の腫瘍性病変、頭蓋内血腫、脊椎脊髄神経疾患、末梢神経疾患の手術治療
- ・回復期リハビリテーション病棟を活用し、急性期の在院日数を短縮
- ・脳ドックの実施、定期的な画像検査の啓蒙
- ・チーム医療により、血栓溶解療法(t-PA)、カテーテルによる血管内手術(IVR)など脳卒中に対する急性期血行再建を継続実施

⑭整形外科

- ・整形外科領域の幅広い疾患に対して専門的医療を提供
- ・変形性関節症、骨折、靭帯損傷、半月板損傷、関節リウマチ、腰椎間板ヘルニア、骨軟部腫瘍の治療
- ・在院日数の短縮を図り、病床確保、入院単価の向上をめざす

⑮救急科

- ・継続して南和地域を中心とした救急車受入要請を応受
- ・高度な医療を継続して実施
- ・OJTなどの救急診療教育の継続

⑯皮膚科

- ・専門的な検査、治療が必要な皮膚疾患患者の受入
- ・アレルギー性皮膚疾患、皮膚感染症、膠原病の皮膚症状、難治性皮膚創傷(褥瘡など)、多汗症の診療

⑰泌尿器科

- ・専門診療科としての診断、治療
- ・経尿道的膀胱悪性手術(TUR-BT)、経尿道的前立腺手術(TUR-P)、体外衝撃波結石破碎術(ESWL)の件数増加

⑱眼科

- ・専門診療科としての診断、治療
- ・白内障、緑内障、網膜剥離の治療
- ・水晶体再建術(白内障)の実施
- ・糖尿病等との合併症としての眼科疾患への対応

⑲耳鼻咽喉科

- ・専門診療科としての診断、治療
- ・アレルギー性鼻炎に対する低侵襲手術の実施
- ・頭頸部領域をはじめ、アレルギー、めまい、顔面麻痺、いびき、声とことば、飲み込み異常の治療
- ・アレルギー免疫療法の実施

診療科の続き

⑩産婦人科

- ・子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮内膜症などの良性疾患や、婦人科特有の感染症、更年期障害の治療
- ・骨盤臓器脱(性器脱)に対する専門的な治療
- ・子宮がん検診の件数増加
- ・奈良医大産科と連携した妊婦健診の推進

⑪歯科口腔外科

- ・一般歯科医院で対応困難な疾患の治療
- ・口腔がん、上顎、下顎、顔面の外傷、骨の疾患、顎関節症などの治療
- ・NST、糖尿病、周術期、緩和ケア等チーム医療に貢献

⑫麻酔科

- ・硬膜外鎮痛法、静脈内鎮痛法、超音波ガイド下神経ブロック法を積極的に取り入れた術後疼痛管理の実施
- ・全身麻酔の割合(現状56.5%)を増やし、患者の安全性を確保

⑬放射線科

- ・CT検査、MRI検査を中心とした画像診断のほか他診療科との連携を図りながら、低侵襲で安全な治療方法として、画像下治療(IVR)を実施
- ・CT検査1400件/月、MRI検査420件/月の実施をめざす

⑭病理診断科

- ・より良い診断の提供
- ・地域がん診療病院の機能強化
- ・術中迅速検査の実施を図り、30分以内報告を継続
- ・病理解剖の件数の増加

2. 南奈良総合医療センター 医療センター

①救急センター

- ・強い情熱と意欲で、内科系外科系を問わず救急患者に対応
- ・救急に関わる人材育成(救急救命士の実習、トリアージナースの研修など)
- ・ICT技術を活用し、迅速かつ正確な診断、治療を行う体制の構築
- ・ドクターヘリの効率的な運航

②消化器病センター

- ・消化器内科、消化器外科、放射線科で適時に症例検討会を実施
- ・最先端の手術室、内視鏡、画像診断、IVRを有機的に組み合わせて消化器疾患を診断、治療

③リウマチ・運動器疾患センター

- ・整形外科疾患とリウマチ性疾患の総合的な診療、リハビリテーションを含めた運動器疾患全般の治療
- ・関節痛をきたす疾患について、他科の医師と連携して診療を実施
- ・併存疾患の管理、合併症の予防など細やかなケアの実施

④糖尿病センター

- ・多職種で構成する糖尿病チームで、糖尿病合併症(腎症、網膜症、神経障害、心臓・脳血管疾患、足病変、歯周病)のトータルケアを実施

⑤腎・尿路疾患センター

- ・腎不全の予防から人工透析までの総合診療の実施
- ・がんを中心とした泌尿器科領域、合併症を有する腎不全患者の診療

⑥在宅医療支援センター

- ・住み慣れた自宅で自分らしく療養生活を送れるようにサポートを充実
- ・地域における医療・福祉との連携

⑦へき地医療支援センター

- ・へき地においても、あたたかい医療、質の高い医療を提供
- ・へき地医療を支えるシステムの維持、発展に努力

⑧健診センター

- ・がん、生活習慣病などの早期発見
- ・生活習慣改善のアフターケアを医師、看護師、薬剤師、管理栄養士がチームとしての確かな管理指導

⑨がん相談支援センター

- ・がん患者、ご家族の外来、入院、療養生活に係る相談
- ・がんピアサポーターとの連携による患者サロン「ひととき」の運営

3. 吉野病院 診療科

①内科

- ・内科では多くの疾患を抱えた患者を総合的に一般内科として診療
- ・南奈良総合医療センターからの転院依頼を積極的に受入れることで1日平均入院患者数80名をめざす。
- ・患者待ち時間短縮のため、内科3診(予約外・時間外)の常設などを検討

②整形外科

- ・外来では、骨折、腰痛、膝関節痛、骨粗鬆症等の保存的治療(手術以外の治療全般)、軽症(入院を要しない程度)の外傷に対応
- ・南奈良総合医療センターからの転院依頼を積極的に受入れることで1日平均入院患者数13名をめざす。

4. 五條病院 診療科

①内科

- ・内科では、生活習慣病をはじめ、多くの疾患を抱えた患者を総合的に一般内科として診療
- ・南奈良総合医療センターからの転院依頼を積極的に受入れることで1日平均入院患者数33名をめざす。
- ・生活習慣病患者の拾い上げから生活、食事指導治療まで一環して行える体制を構築

②整形外科

- ・外来では、地域の方々の膝の痛みなど一般的な整形外科疾患の診療を実施
- ・関節リウマチに対する生物学的製剤を用いた治療など、専門的医療を実施
- ・南奈良総合医療センターで手術を行い、当院へ転院後の地域でのリハビリテーションや退院後の外来通院を担当

5. 部門

①看護部

[理念] 地域の人々に信頼される責任と思いやりのある看護を提供します。

[平成29年度目標] 3病院の連携をスムーズに行い患者に最適な医療を提供するとともに、病院経営に参画する。

<南奈良総合医療センター>

- ・看護専門外来(フットケア外来など)等の件数増加
- ・看護の質向上をめざしつつ、現状の稼働状況を維持
- ・看護師の質向上、救急看護の充実、安全文化の醸成
- ・認知症ケア加算1の取得をめざす

<吉野病院>

- ・訪問診療(同行)、訪問件数450件/年を目標
- ・感染対策、医療安全の推進
- ・学習と成長の視点
- ・認知症ケア加算2の取得をめざす

<五條病院>

- ・病床稼働率の維持
- ・訪問診療(同行)の実施
- ・感染対策、医療安全の推進
- ・認知症ケア加算2の取得をめざす

部門の続き

②薬剤部

〔理念〕 患者さまのために何が出来るかを常に考え、寄り添い、行動できる薬剤師になります。

<南奈良総合医療センター>

- ・薬剤管理指導業務の充実、病棟薬剤業務実施によるDPC機能評価係数加算の取得
- ・後発医薬品の採用促進、採用医薬品の見直し
- ・適正な在庫管理

<吉野病院>

- ・採用医薬品の見直し
- ・薬剤管理指導業務に向けた検討
- ・適正な在庫管理

<五條病院>

- ・採用医薬品の見直し
- ・適正な在庫管理

③臨床検査部

・24時間365日、専門性の高い良質な臨床検査の提供 ・正確で迅速な検査結果報告 ・他職種と連携を図り医療支援 ・効率的で透明な検査室運営
・検査業務の安全性・正確性の向上 ・検査の質的向上を図り高い専門性を維持 ・患者目線で心の通った接遇・マナーの実践

<南奈良総合医療センター>

- ・日本臨床細胞学会施設認定、日本臨床検査技師会精度保障施設認定、病理学会登録施設認定を取得
- ・試薬費の削減
- ・技師のスキルアップ・育成
- ・予約検査待ち日数の短縮

<吉野病院>

- ・検査室の体制を変更し、臨床支援を拡充
- ・試薬の効率的運用

<五條病院>

- ・検体検査管理加算Ⅱの取得
- ・試薬の効率的運用

④放射線部

・地域の皆様に質の高い検査・治療を安心して受けていただく。
・大型機器の共同利用を促進し、地域の診療所医師からの検査紹介患者を増加

<南奈良総合医療センター>

- ・救急医療、専門医療、へき地医療など多様なニーズに対応すべく、CT、MRI、最新鋭のフラットパネルによるX線撮影などの画像診断装置やIVR(血管内治療)装置を導入し、最先端の医療を提供
- ・予約枠の調整を行い検査効率を向上し、緊急検査にも迅速に対応

<吉野病院>

- ・医師との連携による効果的な検査の実施

<五條病院>

- ・周辺医療機関からのCT検査機器の有効利用促進

部門の続き

⑤リハビリテーション部

- ・発症早期よりリハビリテーションを開始し生活能力の低下を予防
- ・入院中に低下してしまった生活能力の早期からの改善
- ・地域連携を重視し社会復帰を支援
- ・高次脳機能障害や摂食機能障害に対してもアプローチ

<南奈良総合医療センター>

- ・急性期治療が終了した後、必要に応じて回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションを提供
- ・外来リハビリの充実

<吉野病院>

- ・地域包括ケア病床の患者1人あたりの単位数2.5単位を実施

<五條病院>

- ・地域包括ケア病棟入院料取得に向けて、実績を積む

⑦栄養部

- ・入院患者に対する適切な栄養療法の実施、病態に応じた栄養療法を実施し、治療効果を高める
- ・安心・安全な患者給食の提供を行うとともに患者満足度を高める

<南奈良総合医療センター>

- ・定期的に嗜好調査を実施し、献立内容に反映
- ・入院患者への栄養スクリーニングを行い、栄養介入、栄養管理計画書を作成
- ・病態・症状に応じた特別治療食の提供

<吉野病院>

- ・定期的に栄養管理計画を再評価し、QOLの向上や早期退院に貢献
- ・定期的に嗜好調査を実施し、献立内容を適宜見直す

<五條病院>

- ・入院患者への栄養スクリーニングを行い、栄養介入、栄養管理計画書を作成
- ・定期的に嗜好調査を実施し、献立内容に反映

⑥医療技術センター

- ・臨床工学技士による適格な医療機器保守管理、ラウンド点検の実践によって医療安全に寄与
- ・歯科衛生士の専門性を活かして、NST活動、摂食嚥下における口腔内評価に貢献、糖尿病患者の口腔衛生指導を担当
- ・視能訓練士の技術を活かし、健診センターでの視能検査業務を担うなどチーム医療に貢献

⑧地域医療連携室

- ・地域の医療機関との交流や病診連携、医科歯科連携研修会等の企画により連携を推進
- ・在宅医療支援センターの活動を推進
- ・南奈良総合医療センター、吉野病院、五條病院の効率的でシームレスな連携の構築

⑨医療安全推進室

- ・医療事故・ヒヤリハット情報の収集分析により、医療事故の予防、再発防止に努める
- ・医療相談室への意見や要望を分析し、対応策を検討
- ・医療安全の推進に関わる広報、研修の企画、運営

部門の続き

⑩感染対策室

- ・各種感染症の発止状況把握と対策の検討、実施
- ・感染対策マニュアルの作成、改訂
- ・院内ラウンドによる院内感染対策実施状況の確認、是正
- ・職員への感染対策教育

⑪教育研修センター

- ・医師・看護師・看護学生だけでなく、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士などの専門職は勿論、事務職も含めた全スタッフが、研修し生涯学び続けることのできる職場を目指す。
- ・メディカル・スキルアップ室を整備し、Off the job においてはICLSをはじめとするシミュレーション教育を積極的に展開し、全職員がBLSを実践

⑫栄養サポートチーム（NST）

- ・急性期から慢性憎悪期まで、患者の病態に応じた栄養療法を実施し治療効果を高める
- ・早期介入により予後の改善、入院期間の短縮に貢献する
- ・褥瘡・摂食嚥下・緩和チームとの連携による栄養療法の実施

6. 看護専門学校

○奈良看護専門学校

【教育理念】

- ①奈良県南和地域をはじめ広く地域社会に暮らす人々の、急性期から療養期医療・在宅医療・へき地医療を支えることができる質の高い看護職者を育成
- ②生命の尊重と人間の尊厳を基盤とした豊かな人間性を養い、専門的知識・基本的看護技術を身につけ、地域社会に暮らす人々の保健・医療・福祉の向上に貢献し、人々に信頼される専門職業人を育成
 - ・看護師国家試験合格率100%
 - ・入学志願者の10%増加
 - ・県内就職率90%以上を維持

7. 事務部門

○事務部門

- ①「経営の質」の向上に向けた取り組み
「経営の質」の向上プロジェクトチームの設置、医業費用関連支出の削減、未収金対策の推進
- ②地域医療支援病院の承認など新たな施設基準等の取得
- ③情報の発信
健康フェスティバルの開催など
- ④患者サービスの向上
「ご意見箱」に寄せられたご意見に適切かつ迅速な対応 など

患者数・診療収入等の目標（入院）

○入院診療

南奈良総合医療センター

診療科名	平成28年10月からの目標			平成28年10月～3月の平均実績			目標(A)に対する実績(B)の増減 (単位:千円)	平成29年度の目標			実績(B)に対する目標(C)の増減 (単位:千円)
	1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(A) (単位:千円)	1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(B) (単位:千円)		1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(C) (単位:千円)	
1 内科	12.0	40,000	14,400	12.0	33,881	12,197	△ 2,203	12.0	40,000	14,400	2,203
2 総合内科	26.6	40,000	31,920	26.3	40,093	31,633	△ 287	26.6	40,000	31,920	287
3 糖尿病内科	7.6	37,000	8,436	8.5	37,630	9,596	1,160	8.5	38,000	9,690	94
4 内分泌代謝内科	0.6	34,000	612	0.2	31,311	188	△ 424	0.2	34,000	204	16
5 感染症内科	7.0	43,000	9,030	8.5	39,456	10,061	1,031	10.0	42,000	12,600	2,539
6 循環器内科	6.0	50,000	9,000	6.9	49,888	10,327	1,327	8.0	50,000	12,000	1,673
7 呼吸器内科	11.7	42,000	14,742	9.8	41,242	12,125	△ 2,617	10.0	42,000	12,600	475
8 消化器内科	22.2	45,000	29,970	25.5	46,397	35,494	5,524	26.0	48,700	37,986	2,492
9 神経内科	5.6	39,000	6,552	9.7	35,085	10,210	3,658	10.0	35,000	10,500	290
10 小児科	5.0	45,000	6,750	4.5	44,667	6,030	△ 720	5.0	45,000	6,750	720
11 精神科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 外科	15.0	60,000	27,000	15.8	64,361	30,507	3,507	16.0	65,000	31,200	693
13 脳神経外科	15.0	64,000	28,800	17.9	60,591	32,537	3,737	18.0	60,600	32,724	187
14 整形外科	42.0	45,000	56,700	57.4	42,213	72,691	15,991	57.0	45,000	76,950	4,259
15 リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 救急科	6.0	90,000	16,200	6.4	96,834	18,592	2,392	6.4	97,000	18,624	32
17 皮膚科	0.5	30,000	450	0.6	40,944	737	287	0.6	41,000	738	1
18 泌尿器科	5.0	65,000	9,750	7.9	52,442	12,429	2,679	8.0	58,000	13,920	1,491
19 眼科	1.0	99,000	2,970	1.2	86,843	3,126	156	1.2	87,000	3,132	6
20 耳鼻咽喉科	1.5	50,000	2,250	2.1	75,881	4,781	2,531	2.1	76,000	4,788	7
21 産婦人科	1.0	60,000	1,800	0.8	70,988	1,704	△ 96	1.0	72,000	2,160	456
22 歯科口腔外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23 麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 放射線科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 病理診断科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	191.3	48,324	277,332	222.0	47,292	314,964	37,632	226.6	48,968	332,886	17,922

吉野病院

診療科名	平成28年10月からの目標			平成28年10月～3月の平均実績			目標(A)に対する実績(B)の増減 (単位:千円)	平成29年度の目標			実績(B)に対する目標(C)の増減 (単位:千円)
	1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(A) (単位:千円)	1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(B) (単位:千円)		1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(C) (単位:千円)	
1 内科	76.8	21,000	48,384	69.6	20,762	43,351	△ 5,033	80.0	22,000	52,800	9,449
2 整形外科	10.0	23,000	6,900	9.4	26,568	7,492	592	13.0	27,000	10,530	3,038
合計	86.8	21,230	55,284	79.0	21,453	50,843	△ 4,441	93.0	22,699	63,330	12,487

五條病院

診療科名	平成28年10月からの目標			平成28年10月～3月の平均実績			目標(A)に対する実績(B)の増減 (単位:千円)	平成29年度の目標			実績(B)に対する目標(C)の増減 (単位:千円)
	1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(A) (単位:千円)	1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(B) (単位:千円)		1日平均入院患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額診療収入(C) (単位:千円)	
1 内科								33.0	21,000	20,790	20,790
2 整形外科								8.0	21,000	5,040	5,040
合計								41.0	21,000	25,830	25,830

〔記載に係る注意事項(入院)〕

1. 「月額 診療収入」は、月の開院日数を、"30日、"として計算していますので、実績と異なる場合があります。

患者数・診療収入等の目標 (外来)

○外来診療

南奈良総合医療センター

診療科名	平成28年10月からの目標			平成28年10月～3月の平均実績			目標(A)に対する実績(B)の増減 (単位:千円)	平成29年度の目標			実績(B)に対する目標(C)の増減 (単位:千円)
	1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(A) (単位:千円)	1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(B) (単位:千円)		1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(C) (単位:千円)	
1 内科	35.0	10,000	7,000	35.3	10,976	7,749	749	35.3	12,000	8,472	723
2 総合内科	25.0	11,000	5,500	27.9	12,406	6,923	1,423	28.0	12,400	6,944	21
3 糖尿病内科	31.5	12,000	7,560	32.0	14,575	9,328	1,768	32.0	14,600	9,344	16
4 内分泌代謝内科	6.0	18,000	2,160	7.7	16,178	2,491	331	8.0	16,000	2,560	69
5 感染症内科	3.0	5,000	300	4.7	7,230	680	380	5.0	8,000	800	120
6 循環器内科	10.0	10,000	2,000	11.6	9,690	2,248	248	12.0	10,000	2,400	152
7 呼吸器内科	8.0	15,000	2,400	9.6	14,760	2,834	434	10.6	15,000	3,180	346
8 消化器内科	30.0	14,000	8,400	36.0	13,853	9,974	1,574	38.0	14,500	11,020	1,046
9 神経内科	8.0	10,000	1,600	10.8	9,505	2,053	453	12.0	10,000	2,400	347
10 小児科	45.0	5,000	4,500	51.7	5,572	5,761	1,261	52.0	5,600	5,824	63
11 精神科	13.0	6,500	1,690	18.1	6,214	2,249	559	20.0	6,300	2,520	271
12 外科	18.0	17,000	6,120	19.3	16,310	6,296	176	20.0	17,000	6,800	504
13 脳神経外科	20.0	9,000	3,600	19.8	10,335	4,093	493	20.0	10,400	4,160	67
14 整形外科	72.0	7,400	10,656	86.4	7,694	13,295	2,639	90.0	8,000	14,400	1,105
15 リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 救急科	40.0	21,000	16,800	38.1	22,357	17,036	236	38.0	22,500	17,100	64
17 皮膚科	34.0	3,800	2,584	46.9	3,479	3,263	679	47.0	3,500	3,290	27
18 泌尿器科	29.1	17,000	9,894	22.1	15,458	6,832	△ 3,062	23.0	16,000	7,360	528
19 眼科	36.0	7,000	5,040	36.5	8,027	5,860	820	40.0	8,000	6,400	540
20 耳鼻咽喉科	30.0	5,500	3,300	32.6	4,790	3,123	△ 177	33.0	5,000	3,300	177
21 産婦人科	10.0	9,000	1,800	12.6	7,426	1,871	71	14.0	8,500	2,380	509
22 歯科口腔外科	12.0	7,000	1,680	15.0	7,268	2,180	500	20.0	7,000	2,800	620
23 麻酔科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 放射線科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 病理診断科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	515.6	10,142	104,584	574.7	10,104	116,141	11,557	597.9	10,324	123,454	7,313

吉野病院

診療科名	平成28年10月からの目標			平成28年10月～3月の平均実績			目標(A)に対する実績(B)の増減 (単位:千円)	平成29年度の目標			実績(B)に対する目標(C)の増減 (単位:千円)
	1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(A) (単位:千円)	1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(B) (単位:千円)		1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(C) (単位:千円)	
1 内科	80.0	19,000	30,400	73.2	17,887	26,187	△ 4,213	82.0	19,000	31,160	4,973
2 整形外科	31.0	9,200	5,704	29.1	8,741	5,087	△ 617	30.0	9,000	5,400	313
合計	111.0	16,263	36,104	102.3	15,285	31,274	△ 4,830	112.0	16,321	36,560	5,286

五條病院

診療科名	平成28年10月からの目標			平成28年10月～3月の平均実績			目標(A)に対する実績(B)の増減 (単位:千円)	平成29年度の目標			実績(B)に対する目標(C)の増減 (単位:千円)
	1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(A) (単位:千円)	1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(B) (単位:千円)		1日平均 外来患者数 (単位:人)	診療単価 (単位:円)	月額 診療収入(C) (単位:千円)	
1 内科								30.0	9,000	5,400	5,400
2 整形外科								10.0	7,000	1,400	1,400
合計								40.0	8,500	6,800	6,800

〔記載に係る注意事項(外来)〕

1. 「1日平均外来患者数」は、一律に週あたりの診療日数を「5日」と仮定し、月ごとの外来患者数(実績)を基数に算出しています。
2. 「月額 診療収入」は、月の外来診療日数を、「20日」として計算していますので、実績と異なる場合があります。

手術・検査・処置等の件数の目標

○手術

診療科名		平成28年度		目標(A)に対する実績(B)の増減	平成29年度	
		目標/月(A)	実績/年(B)		目標/年(C)	実績(B)に対する目標(C)の増減
12 外科			299.0		350.0	51.0
13 脳神経外科			125.0		147.0	22.0
14 整形外科			635.0		700.0	65.0
18 泌尿器科	前立腺針生検 経尿道的膀胱悪性手術(TUR-BT) 経尿道的尿路結石破砕術(TUL) 経尿道的前立腺手術(TUR-P) ブラッドアクセス造設術 その他泌尿器科疾患		221.0		220.0	△ 1.0
19 眼科			247.0		240.0	△ 7.0
20 耳鼻咽喉科			74.0		74.0	0.0
21 婦人科			37.0		50.0	13.0
22 歯科口腔外科			9.0		10.0	1.0
合計			1647.0		1791.0	144.0

○検査・処置等

診療科名	項目	平成28年度下期		目標(A)に対する実績(B)の増減	平成29年度	
		目標/月(A)	実績/月(B)		目標/月(C)	実績(B)に対する目標(C)の増減
7 呼吸器内科	気管支鏡検査(月)	2.0	4.2	2.2	4.2	0.0
8 消化器内科	ERCP関連手技	12.5	17.7	5.2	18.6	0.9
	食道・胃ESD	3.5	3.3	△ 0.2	3.4	0.1
12 外科	大腸EMR	12.0	26.8	14.8	28.0	1.2
	上部消化管内視鏡	260.0	309.0	49.0	324.0	15.0
	大腸内視鏡検査	60.0	92.8	32.8	97.5	4.7
	上部消化管内視鏡	20.0	12.0	△ 8.0	15.0	3.0
	大腸内視鏡検査	15.0	10.0	△ 5.0	10.0	0.0
13 脳神経外科	t-PA		1.3	1.3	1.7	0.4
17 皮膚科	皮膚腫瘍切除術		4.3	4.3	4.3	0.0
	皮膚生検		2.6	2.6	2.6	0.0
18 泌尿器科	体外衝撃波結石破砕術(ESWL)	1.7	6.0	4.3	3.3	△ 2.7
	シャントPTA	3.3	2.5	△ 0.8	2.5	0.0
	逆行性尿路造影(RP)	5.0	8.0	3.0	6.7	△ 1.3
	膀胱造影(CG)	0.5	1.0	0.5	0.7	△ 0.3
23 麻酔科	麻酔管理	83.3	95.2	11.9	100.0	4.8
24 放射線科	CT検査	1,129.0	1,391.0	262.0	1,400.0	9.0
	MRI検査	366.0	415.0	49.0	420.0	5.0
	消化管透視		16.5	16.5		
	脳MRI		24.2	24.2	83.3	0.7
	マンモグラフィー		41.9	41.9		
	IVR		17.3	17.3	16.7	△ 0.6
25 病理診断科	病理検査	200.0	215.3	15.3	225.0	9.7
	細胞診検査	140.0	185.8	45.8	208.3	22.5
26 人工透析	新規外来患者受入数	1.0	1.8	0.8	1.8	0.0
	入院患者受入数	1.3	7.5	6.2	7.5	0.0
27 健診	人間ドック(年間)	309.0	393.0	84.0	500.0	107.0
	生活習慣病健診(年間)	309.0	339.0	30.0	500.0	161.0
	脳ドック(年間)	200.0	196.0	△ 4.0	220.0	24.0
	乳がん検診(年間)	158.0	275.0	117.0	400.0	125.0
	骨塩定量検査(年間)	50.0	93.0	43.0	100.0	7.0
	胃がん検診(年間)			0.0	400.0	400.0
28 がん相談支援センター	がん相談		17.5	17.5	25.0	7.5